



■キーワード オフィスプランニング ワークプレイス診断 コミュニケーション評価
情報ツール ワークスタイル評価・提案 オフィスブランディング コラボレーション環境
スペース・ツール・スタイルの総合環境構築 ワークプレイスの情報化

■研究の概要

新製品の開発、新技術の開発など、様々なクリエイティブなプロジェクトを便利に快適に進めるためには、ピッタリとフィットしたスペースと仕掛けが欠かせません。

従来の情報伝達型の会議室や画一的な執務室ではなく、複数の人たちがインタラクティブにプロジェクトを遂行するコラボレイティブなワークスタイルに最適なスペースづくりをお手伝いします。



■研究・技術のプロセス／研究事例

■ワークプレイス構築(改善)の基本プロセス

従来のオフィス設計の枠組では、ビルという四角い箱を用意して、それをブロッキング／スタッキングにより部署(機能)ごとに分割、分類して、その中に既成のオフィス家具を並べるという方法で行われてきました。しかし、ますます高度化、多様化する知的創造を支援するためには、快適性や利便性はもとより、働き方(アクティビティ)／ワークプロセス／組織／企業文化／経営戦略／ビジョン／ブランド戦略などなど、様々な要素を経営者やワーカの人たちと一緒に、具体化していくプロセスが重要となります。

- ① 観察調査、ヒアリング調査、アンケート調査等によるワークプレイス診断・分析
- ② ビジネス戦略、ワーク戦略、ブランド戦略の調査／コンセプトの策定
- ③ ワークプレイスの提案、コーディネート／構築
- ④ 運営サポート／ブラッシュアップ

■セールスポイント よりよいワークプレイスを実現するためには、ワーク(働き方)そのものをデザインすることから始め、情報システムや運営方法にまで配慮することが不可欠です。そのために、「診断、提案、運営、評価」というサイクルを通して、経営者／ワーカ参画型の場づくりをお手伝いします。

ワークプレイスデザイン
新たな知的価値を生み出すために